

第5回「霧ヶ峰・山の會」のご案内

今夏の霧ヶ峰は雨の日が多く日照不足気味で過ぎました。それでも植物たちは、例年と同じような様相を見せて育ち、陽光をとり戻した初秋を迎えて健気です。

さて、「霧ヶ峰・山の會」のご案内を申しあげますが、今秋は第5回目を数えます。毎回くり返し書いていることですが、この「山の會」は、山（自然）に親しみ、山と登山にかかわる文化を学び、音楽・絵画・図書・味覚を愉しみ霧ヶ峰好きの参加者同士の交流を深めようと、たいへん欲張りです。小規模ながら地に足をつけ、志は高く、それでいて愉快で濃密な集いを目指しています。

ご案内が、やや遅れましたが、晩秋の霧ヶ峰でお目にかかれるのを心待ちにしています。

記

1. 名称 復活第5回「霧ヶ峰・山の會」
2. 日程 2009年10月24日（土）～26日（月）
3. 場所 信州 霧ヶ峰沢渡り ヒュッテ ジャヴェル
4. 講師 田端英雄氏（里山研究会・岐阜県立森林文化アカデミー非常勤講師）
関沢佳久氏（諏訪市博物館学芸員）
5. 主催 「霧ヶ峰・山の會」実行委員会
布川欣一（登山史研究家・埼玉県）
金子弘吉（山旅山書愛好家・諏訪市）
高橋保夫（ヒュッテジャヴェル経営者・諏訪市）
6. 後援 諏訪市教育委員会・(株)長野日報・(財)八十二文化財団
信濃毎日新聞社・長野朝日放送(株)・長野県諏訪地方事務所（長野県自然保護センター）
7プログラム

	午前	午後	夜
第1日 10/24 (土)		15:00～受付 16:00 開会ミーティング	19:30～21:30 レクチュア ユア・田端英雄氏・(里山研究会)「里山とはどんな自然か」(仮題)
第2日 10/25 (日)	8:30～ワンデルンク ヒュッテ ジャヴェル →東俣・屏風岩→八島ヶ原湿原→旧御射山→ ヒュッテ ジャヴェル	15:00～17:00 レクチュア 関 沢 佳 久 氏 (諏訪市博物館学芸員) 「諏訪大社と御柱と御射山信仰」(仮題)	19:30～コンサート フルート演奏 桂 聡子氏 21:00～参加者全員による大放談会
第3日 10/26 (月)	8:30～ワンデルンク 「霧ヶ峰自然保護センター」訪問 センター職員の話をかかおう	12:00～特製信州そば賞味(諏訪のそば屋出張) 解散ミーティング	

8. 関連行事

- ① 絵画展
ヴォルフガング・ハルファー氏、晩年の水彩画を中心に展示
- ② 山岳書頒布会
古書・新刊書など頒布会開催。平凡社・慶林堂
- ③ コンサート
「フルート演奏」 桂 聰子氏
- ④ そば処
「小坂」

9. 参加定員

25名（自らの力で2~3時間山道を歩ける健康な方）

10. 参加費用

¥27000 - (2泊3日・6食付の宿泊費、傷害保険料を含む・交通費は自弁)
途中参会並びに中途退会は1泊につき、¥1000 - 追加されます。

11. 連絡・問い合わせ

「霧ヶ峰・山の會」実行委員会事務局

〒392-0008 信州 諏訪市霧ヶ峰沢渡り ヒュッテ ジャヴェル

TEL 0266-58-5205

<http://www4.ocn.ne.jp/~javelle/>

12. 付記

- ① 3~5回程度の開催を重ねた時期を目途に、35年「山の會」のものと併せて記録集を刊行する予定です。
- ② 参会者の皆さまに終了証を呈します。
- ③ 洗面具・寝間着は各自御用意下さい。

「霧ヶ峰・山の會」の起源

1935年（昭和10年）夏、霧ヶ峰で5泊6日に及ぶ「山の會」が開催されました。

岡茂雄の梓書房が発行する雑誌「山」が主催し長尾宏也の経営する「ヒュッテ 霧ヶ峰」が会場でした。

登山家の木暮理太郎・民俗学の柳田國男・植物学の武田久吉・中央气象台長の藤原咲平を講師に迎え、（辻村太郎も予定したが欠席）尾崎喜八・中西悟堂・松方三郎・村井米子・小林秀雄・深田久弥・北畠八穂・大岡昇平・青山二郎・中村光夫・飯塚浩二・石黒忠篤ら多士済々が聴講していました。

なお、このたび会場とする「ヒュッテ ジャヴェル」は霧ヶ峰を深く愛し、35年「山の會」で、「山と芸術」を講じた詩人尾崎喜八が命名し、親しんだヒュッテです。

この「山の會」復活については、岡・長尾両氏のご遺族からもご賛同をいただき、復活第1回の集いに参会くださいました。

（注）本文中の「ヒュッテ 霧ヶ峰」は1936年12月焼失しました。現存同名の施設は別のものです。